

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう。

【吉村美穂（よしむら・みほ）さん】

岐阜県大垣市出身。クリスチャンホームに生まれる。16歳で受洗。立命館大学法学部卒業後、京都市立芸術大学音楽学部声楽科卒業。グラーツ国立音楽大学（オーストリア）リート・オラトリオ科修了。三井ツヤ子、A. Haas、C. Whittleseyの各氏に師事。ウイーンを拠点とするアーノルト・シェーンベルク合唱団の正団員として、世界各地で演奏活動をする。また、ウイーンやヨーロッパ各地でソロリサイタル、オペラや教会ミサのソリストとして研鑽を積む。2006年9月より拠点を日本に移し、キリストの愛を伝えるクリスチャンシンガーとしての活動を開始。日本全国のみならず、ヨーロッパ・アジア・アメリカ各地の教会、病院、施設、幼稚園、学校、個人宅などで、証と賛美のコンサートを年間100回以上開催している。また、「ナルニア」「マザーテレサ」などのオリジナルミュージカルの脚本、演出を行い、各地で開催している。

【野田常喜（のだ・つねよし）さん】

京都出身。両親の影響を受けて、7歳から教会で賛美歌やゴスペルの演奏を始める。大阪音楽大学ピアノ科卒業。岡山若い芽のコンサート入賞。なにわ芸術祭等に出演。現在、クラシック、ゴスペルを中心に演奏活動をする。レコーディング、アレンジ、ミュージカル作曲なども手掛け、多数の音楽家のサポートに力を入れている。ジャンルを超えた音楽性と心深く語りかける瑞々しいピアノの音色には、定評がある。

【本日のゲストのHPの紹介】

吉村さんと野田さんの活動情報については「クリスチャンシンガー吉村美穂のページ」(<http://www.miho-yoshimura.com>)をご覧ください。

【本日のゲストのCDの紹介】

吉村さんと野田さんのCDを紹介します（詳細は上のHP参照）。『ここから』（2007年）『Magnificat』（2009年）『聖なるつよさ』（2012年）『Aus Liebe』（2013年）『Miho Yoshimura Best Collection』（2016年）『愛の種蒔き～ミュージカル「マザーテレサ」』（2018年）

【次回の礼拝（動画の配信）】2020年10月27日（火）10時40分

聖書 ヤコブの手紙1章19-21節

奨励 「聞くに早く、語るに遅く、怒るのに遅く」小林昭博（宗教主任）

【大学礼拝週報】2020年度第4号（後学期第4号）

2020年10月20日（火）午前10時40分

リモート礼拝（酪農学園大学 黒澤記念講堂）

《大学礼拝》

チャペルコンサート礼拝
（動画の配信）

ソプラノ 吉村美穂 ピアノ 野田常喜

【プログラム】

1. 主よ、人の望みの喜びよ
詞：マルティン・ヤヌス 曲：J. S. バッハ
2. You raise me up
詞：ブレンダン・グラハム 曲：ロルフ・ラヴランド
3. ピアノソロ There is always hope
曲：野田常喜
4. みことばソング 信仰・希望・愛
詞：吉村美穂（1コリント13章「愛の讃歌」） 曲：野田常喜
5. 喜びが集まったよりも
詞：星野富弘 曲：なかにしあかね
6. 今日もひとつ
詞：星野富弘 曲：なかにしあかね
7. 幸いなるかな
詞：吉村美穂（マタイ5章「幸いの教え」） 曲：野田常喜
8. 愛の種蒔き
詞：吉村美穂 曲：野田常喜